

生産方式革新実施計画の概要【合同会社 あかたんぼ】

2025年
12月24日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用



水稻において、栽培管理システムから得られたデータ（生育予測情報等）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

合同会社あかたんぼ（秋田県由利本荘市）

経営概況（2025年11月時点）

経営規模：水稻16ha

従業員数：1名

<対象品目>

水稻

<計画の実施期間>

5年間

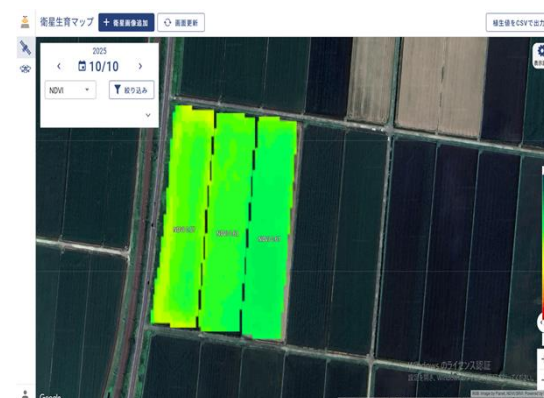
<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



合同あかたんぼ 佐々木代表



栽培管理システム

～認定を受けて一言～

地域の水田の栽培委託の増加により今後も栽培面積の拡大が見込まれるため、スマート農業技術を導入し、本計画を作成することにしました。
今後も地域に根差した農業振興に取り組んでまいります。